

文化、せさき



小泉稲荷神社

伊勢崎市文化協会

平成30年度伊勢崎市文化協会事業予定

伊勢崎市文化協会では、一年間を通して下記のような行事を行います。
各期とも入場無料ですので、皆様お気軽にご来場ください。



会期 / 会場	開催日	会場	【部門】 事業名	
華蔵寺公園野外ステージ	4月 1日(日)	野外ステージ	【郷土芸能】 華蔵寺公園花まつり 郷土芸能発表会	
プラザ・アリア	5月22日(火)	プラザ・アリア	定期総会	
第1期 平成30年 9月7日(金)~9日(日) 境総合文化センター	9月 7日(金) ~ 9日(日)	一般展示室、 展示ロビー、小ホール	【美術】 総合作品展	
	9月 9日(日)	大ホール	【洋舞】 洋舞フェスティバル	
		和室他	【茶道】 茶会	
第2期 平成30年 11月17日(土)~18日(日) 境総合文化センター	11月17日(土) 18日(日)	一般展示室、 展示ロビー	【自然】 総合展	
	11月17日(土)	大ホール	【音楽】 市民音楽祭	
	11月18日(日)	大ホール	【郷土芸能】 郷土芸能大会	
第3期 平成31年 2月1日(金)~3日(日) 境総合文化センター	2月 1日(金) ~ 3日(日)	一般展示室、 展示ロビー、小ホール	【書道】 書道展	
	2月 2日(土)	大ホール、和室等	【諸芸】 発表会	
		大ホール	【歌謡】 発表会	
	平成31年 2月16日(土)・17日(日) ふくしプラザ	2月16日(土) 17日(日)	1F ワークショップ前	【文学】 文学祭
		2月16日(土) 17日(日)	1Fワークショップ	【華道】 いけばな展
	平成31年 2月17日(日) 境総合文化センター	2月17日(日)	大ホール	【民謡民舞】 民謡民舞発表大会
第4期 平成31年 3月9日(土)・ 15日(金)~17日(日) 境総合文化センター	3月 9日(土)	大ホール	【吟剣詩舞】 吟剣詩舞の集い	
	3月15日(金) ~ 17日(日)	一般展示室 展示ロビー	【写真】 写真展	
		3月17日(日)	大ホール	【邦楽舞踊】 邦楽舞踊のつどい

『真実の文化を求めて』



伊勢崎市文化協会

会長 諏訪 勝美

伊勢崎市文化協会は、二百二十九団体
七千二百五十名で構成され、十五部門に
別れて活動をして居ますが、皆心の絆で
しっかりと結ばれています。各部門とも
活動をする場所は違えども、本物を求め
る心はどの部門も共通している処です。

野外で活躍する部門は自然との闘いの
場でも有り、一瞬一時の為に莫大な時間
と労力を伴い、作品が出来上がるまで緊
張の連続でしょう。色々趣向を凝らし
一つ一つに真心を込めての作品造りに精
進しているものと思われれます。

一方室内での作品作りの部門では、そ
れぞれの見聞での経験や資料集めの大変
さ、古来からの文化継承の難しさなど、
苦しみも修行の一部となり、時代にあっ
た新しい文化も取り入れられ、どの部門
にも共通することですが、厳しいけれど
修行を乗り越えられた者にしか得られな

い苦行から得た沢山の喜びも生まれます。
舞台を使つての部門では、観る人聴く
人に勇気と感動を与え、生きる喜びや愛
の美しさ、幸せに成る為の努力、悲しみ
を忘れさせ、生きる事への道しるべにも
なり、人生は一生が青春です。青春を悔
いなく過し後悔しない為にも、伝統文化
に自らの闘志をさらに掻き立て、力強く
世界に羽ばたく最高の人生にして戴きた
いと願っております。その為にも自分自
身に満足する事だけに留まらず、他の部
門への応援や作品鑑賞は勿論の事、諸先
輩や先生方の所作を観て技術向上に励ん
で戴きたいと思ひます。

終わりに成りますが日頃より伊勢崎市
文化協会を支えて戴いております関係各
位の皆様のご多幸と益々のご健勝を心
よりご祈念申し上げますご挨拶とさせていた
できます。

吟社七点、紙芝居を楽しむ会
四十点、群馬童話研究会六十
点と多くの作品を展示し多数
の方々に見ていただきました。
二月四日にはご多忙中にも
かわからず、五十嵐市長・徳
江教育長・諏訪文化協会々長・
石橋文化観光課長に見ていた
だきありがとうございます。
御礼を申し上げます。

伊勢崎市文化協会 各部門のあゆみ

文学部門

文学部門の歩み
石原 学

当文学部門は現在七団体、
総勢一六〇名です。
各団体とも会員の高齢化が
目立ち、また体調を崩された
方も何人か居るやに聞いてお
ります。会員の減少、これは
文学部門に限らず、他の部門
においても共通の悩みかと
思っています。

文学部門の各団体とも、老
骨に鞭打って何とか会の存続
に努めたいと頑張っています。
各団体とも、年間の実施計
画にもとづき、旬会・勉強会・
発表会など行い積極的に活動
しています。

本年度は二月三日(土)四日
(日)の二日間、伊勢崎市ふく
しプラザにおいて、恒例の文
学祭を開催しました。各団体
の作品即ち、みさと短歌会九点、
境図書館短歌会十点、伊勢崎
市民俳句会十一人、川柳みやま

吟社七点、紙芝居を楽しむ会
四十点、群馬童話研究会六十
点と多くの作品を展示し多数
の方々に見ていただきました。
二月四日にはご多忙中にも
かわからず、五十嵐市長・徳
江教育長・諏訪文化協会々長・
石橋文化観光課長に見ていた
だきありがとうございます。
御礼を申し上げます。

幸いにも天候に恵まれ多く
の方々に見ていただき感謝申
し上げます。
終章になりましたが準備の
段階から撤収に至るまでご苦
勞をいただきました事務局の
皆さんに厚く御礼を申し上げ
ます。文学祭が盛大且つ有意
義に終了できましたのも関係
各位のご協力、ご支援の賜と
深く感謝申し上げます。あり
がとうございました。

音楽部門

永遠の仲間づくり

高橋 蓉代

第十一回市民音楽祭が十一
月十八日(土)に境総合文化
センターで開催されました。
市民音楽祭は、ハーモニカ、
オカリナ、バンド演奏、コーラ
スなど多彩なジャンルの団体
が一同に会し、ご来場の皆様と



共に音楽の一日を楽しみむ祭典
です。

今年、「届け！みんなの心
にこのメロディー」をスロー
ガンに、音楽部門二十三団体
のうち十八団体が参加して、
心をこめて演奏いたしました。
聴くだけでなく自ら歌い演
奏する音楽の楽しみを共有で
きる仲間、趣味に没頭できる
仲間、音楽をとおしての活動
は永遠の仲間づくりの場と
なっているのではないでしょ
うか。

二〇二五年には、超高齢化
社会を迎えると言われていま
すが、音楽とともに生きるこ
とができれば、私達はさらに
強く生きることが出来ます。
心豊かな音楽に囲まれて仲間
と支え合いながら生涯音楽活
動を学べる社会づくりに貢献
できるよう、音楽部門は益々
頑張っていきたいと思ひます。

最後に、市民音楽祭の開催
にあたり、事務局並びに関係
者の皆さんに大変お世話にな
りましたこと、心から感謝を
申し上げます。ありがとうございました。

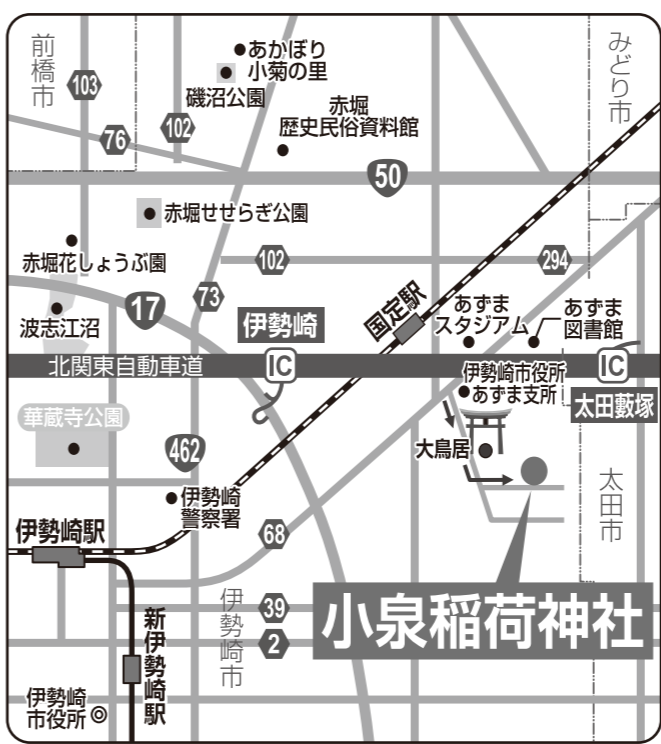
【表紙説明】 小泉稲荷神社

小泉稲荷神社は、伊勢崎市の東端で北関東自動車道の南側に
位置する、小泉町にある神社です。御祭神は、宇迦之御魂神・
大己貴命をお祀りしており、御神徳は商売繁昌・五穀豊穰等の
神様として知られています。

拜殿前には、大願成就を感謝するために奉納された様々な鳥
居が二百数十基も隙間なく並んでいることでも知られており、
元旦には初詣客が長い列をつくり、県内でも有数の賑わいをみ
せています。

また、神社の西側には群馬県で一番大きいと言われている高
さ約二十二メートルを誇る大鳥居があります。周辺では毎年十
月中旬頃になりますと、ボランティアの方々の方々の協力による色ど
りどりのコスモス約二十万本が咲き乱れます。

撮影者／写真部門 日報連 伊勢崎支部 小山 輝永



歌謡部門

歌謡部門の歩み

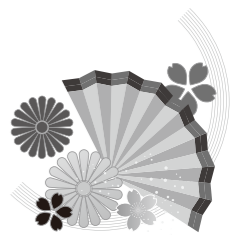
北 サヨ子

文化協会歌謡部門は十四団
体、七五〇名を越える大所帯
の部門です。植木部門長を筆
頭に年二回の発表会を開催す
るなど幅広く活動しており、
その内助の功とも言える会計
を長期間、須賀昌三さんに支
えて頂いております。何事
にもキメ細かい配慮と誰より
も歌謡部門を愛し、社交的で
雄弁な須賀さん。昨年十二月
をもって勇退する事となりま
した。須賀さんの足跡は私達
の心の中にいつまでも残り引
き継がれていく事でしょう。

この場をお借りしまして長き
に亘りご尽力頂きました事に
感謝の意を表したいと思いま
す。本当にご苦労様でした。
後任には白樺会の船戸省三郎
さんが就任されました。今後
のご活躍が期待されます。宜
しくお願い致します。
ここ数年の高齢化は歌謡部
門も同様です。
最近テレビや雑誌等でカラ
オケが老人性疾病に効果があ
ると報じられました。例えば
誤嚥性肺炎には「喉を鍛える」
認知症には「多く曲に挑戦し常
に刺激を与える」等々。「歌は
心の健康、複式呼吸は身体の
健康」をモットーに活動して
いる私の教室。私は、この「や
りがいのある仕事」に関りあ
えた事の誇りと、この機会を
頂けた事に感謝致します。幾
人かの方に言ったのです。「歌
をやっている良かった。辛い時
嫌な事があった時、一時でも
忘れることができる。心を切
り変えることができる。仲間
も沢山できたよ。声を出す
ストレスを発散できるし、解
消にもなるね」
老いと上手につきあいなが
ら、益々盛んになるだろう歌
謡部門。先輩方の築き紡いで
きた志や伝統を更に構築し、
後輩を育成し、引き継いでい
く事が私達の使命かと思いま
す。

一人でも多くの方のイキイ
キとした姿を思い浮かべなが
ら。誰かが言っていました。
「人生これからの面白い……」
と。私もそう思います。





邦楽舞踊部門

第十回 邦楽舞踊のつどいを終えて

川島 かずみ

今年も早朝よりお寒い中、沢山のお客様にご来場いただきまして誠にありがとうございます。

お客様の貴重なお時間をお借りする中で、少しでも皆様の中に残る演目、演出をと、二十一年団体思考錯誤しながら、出演させていただきました。

「邦楽舞踊のつどい」もお陰様で無事に十回目を終える事が出来、また、ご来場して下さったお客様が、毎年この発表会を楽しみにしてくださっている事をお聞きし、改めて喜びを感じております。

日々せわしなく流れる中、一時でも心が豊かになれる時間を皆様と共有し、ここ伊勢崎から日本の伝統文化と新しい芸術を発信して行けるように益々元気で若々しく、皆様に愛される団体をめざして行きますので、これからもどうか応援の程、宜しくお願い申し上げます。

洋舞部門

洋舞フェスティバルを終えて

田島 典子

十周年記念を終えての洋舞フェスティバル。レクダンス・フォークダンス・フラダンスの二十五団体による、一年に一回の発表会が境文化センター大ホールで開催されました。

皆さんこの日に向けて、練習に練習を重ね、その成果を披露します。団体で一つのテーマに向い表現していきます。適度な緊張感を胸に抱き、少しでもうまく表現できる様頑張ります。踊る人達見る人達共に勉強です。舞台の上は、それはそれは見事な花が咲き乱れました。小さいお子様の可愛さ、迫力あるレクダンス、思わず学生時代を思い出すフォークダンス、南の島にいるかと思うフラダンス、各部門が、お互いに刺激をうけます。

衣裳、表情、音楽、振り付、華やかで素晴らしい舞台になりました。やったという達成感を感じる人、ちょっとミスしちゃったという反省感、いろんな想いを胸にだき、フィナーレを迎え「花は咲く」を全員で歌い幕がおりました。

吟剣詩舞部門

第十一回吟剣詩舞の集い開催

石田 英生

私達「吟剣詩舞部門」では、毎年二〜三月に「吟剣詩舞の集い」を開催して、会員相互の親睦を図るとともに、これを切磋琢磨の場としています。

今年度は、二月二十五日に市長・教育長を来賓としてお迎えして文化会館小ホールで行われ、盛会のうちに終えることができました。

今回の参加団体は十五団体で、参加人数は延べ二〇〇名に、さらに古武術、華道、弓道などの賛助出演があり、多彩な内容でした。

平成二十年に第一回の芸能発表会が開催されて以来、会員の高齢化とともに、少しずつ参加者が減少しているのが実情です。

そのような中であって、今回の催しを通してみますと、歌謡吟詠など、吟剣詩舞関係者以外の方々にも楽しんでいただけるような演目が増えていくのを感じています。恐らく、会員の皆さんも、従来の吟剣詩舞の堅いイメージから、一般の方々も親しみやすくなるような工夫をしているのではな

舞台で踊る事の幸せを感じ、お客様の温い声援に感謝し、事務局の方々の温いサポートに感謝し、会長さん副会長さんの目配り気配りに感謝し、来年に向けて練習に励みたいと思います。

自然部門

自然に享受した伝統文化を継承

大和 洋司

自然に親しみジャンルの異なる十団体で構成。盆栽・山野草・菊花・蘭の育成・石仏・野鳥観察など、それぞれの趣味に情熱を込めて三百二十人余が活動しています。

部門最大の事業で今年は十一月十八日(土)・十九日(日)境総合文化センターで開催。八団体七十三人が三百一点の力作を展示しました。

内訳は、盆栽三団体二十二人で八十二点、山野草三団体三十七人で百六十一點、蘭五人で二十七点、石仏(写真)九人で三十一点でした。

今年も同センターで音楽部門、郷土芸能部門の発表会が同日開催され、両日とも盛況で、多数の来場者が展示作品を熱心

いかと感じられました。その効果か、客席は途中退席されず、終了まで鑑賞しているお客様が多く、心強く思いました。とくに、客席の前列で年配のご婦人が終始一生懸命拍手を送ってご覧になっているのが印象的でした。

民謡民舞部門

第十一回民謡民舞発表会を終えて

高野 邁

第十一回民謡民舞発表会大会が平成三十年二月二十五日伊勢崎市文化会館大ホールにて行われました。

オープニングは「上州よいとこ」の曲に合わせ大勢の方に踊って頂き華やかに開演しました。

式典では市長五十嵐清隆様・教育長徳江基行様には、伝統芸能で有る民謡民舞に温かいご理解のご祝辞を賜り有りがとうございました。

本年は伊勢崎市出身の町田佳聲生誕一三〇周年を迎えます。町田先生は全国に埋もれた民謡を数千曲採集し、日本民謡

に見入っていました。来賓の市長・教育長・文化協会会長には両日鑑賞していただきました。また事務局の皆様さんには開催に向けての諸準備にご指導をいただき感謝しています。

また、各団体の年間活動は文化協会からの部門事業費も充て、計画した諸事業が実施出来ました。盆栽では三団体合同の春の盆栽展、市ふくしプラザフェスティバル展のほか個別では春秋の展示会、県群樹展ほかに出品しました。

山野草では、春秋の展示会のほか、さぎ草展・関東山野草展・文化祭などに出品。他団体の見学交流会や例会を通して研鑽を重ねました。菊花では、第六十三回伊勢崎菊花大会を華蔵寺公園特設会場や田島弥平旧宅展示場で開催しました。

蘭では、年四回展示会を開催し、えびね蘭・風蘭・寒蘭・春蘭や貴重品種を展示し研鑽を重ね、古典蘭の育成に努めて来しました。

石仏では、今年も県内近県を巡り名刹や路傍にひっそり佇む石仏の歴史を刻んだ柔らかな表情をカメラに収める撮影会を行いました。

野鳥では、四季の鳥の生態を観察し、自然に親しみながらの探鳥会を実施しました。

大観全九巻を刊行しました。先生は、群馬県民謡連盟第一回認定試験審査委員を務めて下さり、帰りに私が高崎駅迄お送りしました。

その時のことは、今でもはっきり覚えております。カラリコ節、ちゃつきり節の作曲もなされ長年唄い踊り継がれております。

民謡を通じて多くの方々を知り合いになり何よりの宝物とされています。

今回の発表大会も各団体が心一つにしてお稽古の成果が大いに発揮されたと思います。

結びに市文化観光課職員の皆さん大変お世話様に成りました。厚くお礼申し上げます。

郷土芸能部門

年間行事を終えて

糸井 清春

「郷土芸能大会」は、平成二十九年十一月十九日(日)、境総合文化センターに於いて、約五〇〇名の会員により、お陰様で無事盛況のうちに、終える事が出来ました。

これもひとえに、事務局を始め、関係各位、会員の皆さんのご協力の賜物と深く感謝申し上げます。大会を終えて、

自然環境が年々変化している中で懸命に生きる野鳥や渡り鳥たちの未来に向けての保護対策にも意を注いで行きたいと考え活動しています。

諸芸部門

囲碁を楽しむ

小谷 雅春

昨年の暮、囲碁の井山裕太七冠と将棋の羽生善治永世七冠が国民栄誉賞を授与されることに決まり、囲碁・将棋が増益々盛んになることと思えます。

今回は「境総合文化センター」で行われている「境囲碁研究会」の活動を紹介します。

第一と第三土曜日、約二十余名の仲間が自由に「境総合文化センター」に集まります。会員制度もなく、予約せず、午前十時に行けば参加できます。会費千円で、昼食がでます。

幹事の天田育宏会長が、四名ごとに五つか六つのチームに分けます。伊勢崎A・Bとか、境地区、新田地区、東地区とか、地域ごとにチームが編成されます。そして、四局の個人の対戦表を作ってくれます。

多少の課題は残りますが、「郷土芸能大会」は、会員にとつては一年の行事の中で、最も意義ある大会だと思えます。

そして、各団体とも、自分の受け持つ役割に責任を持ち、真剣に演じている姿は、すばらしかったと思えます。また、今年の四月、華蔵寺公園の「花まつり」は、桜もほど良く咲き天気も良く、絶好の「花まつり」でした。お客様も、たくさん集まって頂き、演技が終わるたびに、拍手を送って頂き、郷土芸能部門の演技を充分堪能して頂けたと思います。

今年度平成三十年も、四月一日(日)の「花まつり」に始まり、「いせさきまつり」「いせさき花火大会」、新潟県寺泊町の「みなとまつり」、市民活動課による「市民交流まつり」、元旦の「ニューイヤー駅伝」等、今年も予定が山積んでいます。今後とも会員と親睦を図り「相互の和と協力」を基本に、すばらしい団体となる様、頑張ってください。

マイナス一点(六段階)から九点(三級くらい)の仲間で開催し、対局します。終わりに、チーム表彰と個人賞がでます。

二回連続(八連勝)すると一点昇格します。すでに、この会は二十年も続けられ、大変、明るく楽しいサークルです。

先日、二月三日には市民囲碁大会が行われ、六十四名の仲間が楽しみました。

昨今、長寿社会となり、余暇を過ごすにもつてこいの趣味です。気軽に会に参加し、楽しんでください。



美術部門

第十一回総合作品展を終えて

児島 貞二郎

第十一回伊勢崎市文化協会総合作品展が、境総合文化センターに於いて、平成二十九年九月八日(金)〜十日(日)まで開催しました。前回は二月にあり製作期間が短かったけれど、各人が努力の結果良い作品

書道部門

第十一回書道展を終えて

栗原 ウメ子

平成三十年二月二日（金）
四日（日）の三日間、境総合文化センターに於て第十一回書道展が開催されました。

今回は二十三団体、二百四十九名と多くの方の出品がありました。前夜からの雪がさらさらと舞う静けさの中で初日を迎えました。

そんな足元の悪い中ではありましたが、三日間で千人近い皆様に来場していただくことが出来ました。それもまた、書道に対する市民の皆様のお心、会員の方々の熱意の賜と感謝しております。

書道には漢字、仮名、調和体、大字書、墨象、刻字、ペン字と多種多様な書風作品が有りますが、同じ会場に一同に展示され、鑑賞することが出来ること云う事は、社中展等とは一味違う醍醐味があると思います。また、回を重ねるごとに個々の作品の向上も見られ、日頃の研鑽の成果ではないでしょうか。

伊勢崎市は県内でも一、二を競う書道愛好者の多い市でもあり、飾り付けや搬入出等を受け、直にその旨各流派に連絡をとりました。午前中から事務局の皆様のご協力で素晴らしい会場を作っていました。

会員の活け込みは、三時から六時まで、流派の特徴をいかし活け上げました。会場は早春の花々に彩られ、花の香りが漂い、春の訪れを伝えてくれました。流派を越えて、一つの目標に向って心一つにし、一生懸命制作いたしました。

今回は創作性ある珍しいフォルムや、通常見られない水仙の繊細な扱いの株分け等意欲作にも出会い、いけばな展ならではの雰囲気表現されてよかったです。

二日目は、中高年の男性の入場者が多かったように感じました。嬉しい傾向です。「花はいゝね」「いけばな展を見た後、胸がスーッとした」「全作品を写真に収めていこう」大型のカメラを首から下げた方は「花をこんなに身近に感じられ、今日一日幸せです」とおっしゃってました。ある女性は、とにかく植物が大好きなんですとのことでした。

またお忙しい中、市長、教育長、文化協会会長にもご来場いただき、有意義なひとときを過ごすことができました。感謝申し上げます。

写真部門

第十二回写真展を終えて

橋本 智明

今年は寒さ厳しい年でした。写真展開催日程は、平成三十年二月二十二日（木）～二十五日（日）で行われました。文化協会写真部門では、約百五十名の会員がおります。写真展に沢山ご来場頂き誠に有難うございました。

今回は七十六点の力作を出品しました。苦勞した作品が多く見受けられた中で、来場者の皆さんから特に好評だった作品を紹介いたします。「朝の光」は連の写真で、葉と

蜘蛛の糸一本と花を望遠で撮影し、葉に焦点を合わせ他をぼかした工夫は素晴らしい作品でした。

「朝霧の中」は、尾瀬ヶ原の日の出で、霧の中に太陽が白く映り木道に一人の人影を取り込んだ作品は、カラーでありながらモノトーンの仕上がりは見るものに感動を与えました。

「提灯ともる頃」は、夕焼けに染まる背景に網となったほおずきの房と実に太陽が重なるシャッターチャンスと構図は見事でした。「泥んこラグビー」は、この作品はスナップ写真で、タイトル通り泥んこ選手が目を引きました。

「ひとり」は、枝にポツンといる猿の写真で孤独な猿の感じがよく出てました。

「噴煙」は、浅間山の噴煙が噴火しているように撮影された作品で噴煙がこれほど高く上がるのは珍しい、シャッターチャンスを生かした作品でした。「里の秋」は、稲刈りが終わった田の畔に真つ赤な彼岸花と田に稲が干されている風景には郷愁を感じます。

「満月」は、満月と信号機の青のランプを引き合わせた工夫された作品で、信号機の明るさと月の明るさが丁度よくなるには苦勞がしのげられます。

伊勢崎市文化協会へ の新規加入案内

伊勢崎市文化協会は、伊勢崎市における各文化団体の連絡調整を図るとともに活動を援助し、その向上発展に務め、本市における芸術文化振興発展に寄与することを目的としています。また、部門活動報告にありますように、一年を通して各部門が精力的に様々な行事を行なっています。各地域で活動なさっている皆さんも加入を検討してみたいかがでしょうか。

《入会資格》

入会しようとする団体は、十名以上で組織する団体であり、常任理事会で承認を得て会員となります。

《部門》

- ①美術
- ②書道
- ③写真
- ④華道
- ⑤茶道
- ⑥文学
- ⑦音楽
- ⑧歌謡
- ⑨邦楽舞踊
- ⑩吟剣詩舞
- ⑪民謡民舞
- ⑫郷土芸能
- ⑬洋舞
- ⑭自然
- ⑮諸芸

の十五部門があります。

皆様の活動内容にあった部門にご加入の希望を願っています。

〇お問い合わせ・入会の申し込み先

伊勢崎市文化協会事務局
伊勢崎市役所
経済部文化観光課内
Tel 24-5111

華道部門

春の訪れ

大和田 貞代

第十一回いけばな展を二月三日（土）四日（日）の二日間、伊勢崎市ふくしプラザのワークショップで開催いたしました。

一日から天候が、みぞれ模様で、だんだん雪に変わり案じておりましたが、二日の早朝に事務局より「道に雪がないので予定通り開催しましょう」との電話

と魅力があり好評でした。紫墨会、紫峰会では、水墨で墨を主に顔彩絵具を使用したり変化があり好評でした。

境水彩画会では、静物や風景、花等、バラエティーに富んで水彩の魅力が出ており好評でした。月永会では、人物、花、網、夢の作品等好評で網の細かいのに感心しておりました。

上州ひょうたん会では、大小様々な作品があり魅力的な作品が揃い、漆を数十回塗り重ねる等素晴らしい、大きな素瓢の作品も種類が異なる等、ひとシーズンで出来る作品などの説明を頂き感動しておりました。

今回の出品は十二サークルで、作品数一五四点、入場者数一四〇〇名近いお客様に観て頂く事が出来、茶道、芸能部門と同時開催で大盛況でした。次回も傑作を期待しております。



を受け、直にその旨各流派に連絡をとりました。午前中から事務局の皆様のご協力で素晴らしい会場を作っていました。

会員の活け込みは、三時から六時まで、流派の特徴をいかし活け上げました。会場は早春の花々に彩られ、花の香りが漂い、春の訪れを伝えてくれました。流派を越えて、一つの目標に向って心一つにし、一生懸命制作いたしました。

今回は創作性ある珍しいフォルムや、通常見られない水仙の繊細な扱いの株分け等意欲作にも出会い、いけばな展ならではの雰囲気表現されてよかったです。

二日目は、中高年の男性の入場者が多かったように感じました。嬉しい傾向です。「花はいゝね」「いけばな展を見た後、胸がスーッとした」「全作品を写真に収めていこう」大型のカメラを首から下げた方は「花をこんなに身近に感じられ、今日一日幸せです」とおっしゃってました。ある女性は、とにかく植物が大好きなんですとのことでした。

またお忙しい中、市長、教育長、文化協会会長にもご来場いただき、有意義なひとときを過ごすことができました。感謝申し上げます。

茶道部門

総合作品展に添え盆

深町 仙華

暑さの残る九月十日伊勢崎市文化協会主催の総合作品展が、境総合文化センターで催されました。一階ロビーでは、日本画・洋画・工芸・陶芸などの作品が紹介されました。

茶席は二階の和室に設けられ、江戸千家・表千家・大日本茶道学会が各々の席を担当しました。そして各流派の思いは、来て下さるお客さまに、落ち着いた雰囲気の中、喫茶の

平成二十九年度 新規加入団体

〇美術部門

原ノ城窯
代表 鈴木 茂

〇音楽部門

あんさんぶる22
代表 堀 安子

〇洋舞部門

フラグループ NaLe i
代表 内山 敏子

カプア

代表 高橋 浩子

ミノアカ

代表 岡田 君子

以上、五団体が平成二十九年度新たに伊勢崎市文化協会に加入いたしました。



書道部門



洋舞部門



邦楽舞踊部門

文化協会活動 ～ アルバム ～



写真部門



自然部門



吟剣詩舞部門



文学部門



華道部門



諸芸部門



民謡民舞部門



音楽部門



茶道部門



美術部門



郷土芸能部門



歌謡部門

平成29年度賛助会員名簿一覧表

No.	団体名／会社名	住 所	代 表 者	電話番号
23	(有)飛翔	伊勢崎市今井町410-2	西村 敬右	25-2018
24	(有)諏訪精工	伊勢崎市国定町2-2065-3	諏訪 勝美	62-0126
25	アルプス工芸	伊勢崎市波志江町4659	小倉 進	24-8995
26	中里表具店	伊勢崎市平和町12-4	中里 俊男	25-3075
27	(有)田澤商店(セブンイレブン)	伊勢崎市田部井町2丁目乙1262	田沢 透	62-0018
28	細谷印刷(有)	伊勢崎市今泉町2-939-5	細谷 昌孝	25-0193
29	ナイトスポット梵	伊勢崎市上諏訪町1257-2	久保美由紀	23-6867
30	紫墨会	伊勢崎市昭和町1950-1	児島貞二郎	25-4025
31	舞踊松葉会	伊勢崎市西久保町1-467-1	田所 陽子	62-2923
32	東観光バス(株)	伊勢崎市境上湊名1186	中島 俊幸	76-5100
33	アクツ印刷	伊勢崎市下触町911-1	阿久津泰弘	62-0460
34	プラザアリア	伊勢崎市喜多町147-1	鷹巢 修	25-0606
35	小暮法律事務所	伊勢崎市本町2-10	小暮 清人	20-1107
36	栗原軽貨物	伊勢崎市大手町26-4	栗原 章二	25-1390
37	民謡旭星会	伊勢崎市安堀町701	高野 邁	24-1291
38	(株)下田運輸	伊勢崎市下道寺町359-1	下田 稚夫	32-0169
39	文寿会	伊勢崎市寿町215-2	高山 文代	24-3721
40	伊勢崎ユネスコ協会	伊勢崎市寿町198-5	設楽 孝吉	63-0988
41	(株)茂木園	伊勢崎市本町20-1	茂木 克美	25-0174
42	ふたば美容室	伊勢崎市野町27-4	町田 二葉	62-5914
43	(株)三共家具	伊勢崎市境伊与久3277	川端 和代	76-3744
44	(有)ユニバースサービス	伊勢崎市境伊与久3277	川端 巖	76-3023
45	(株)メガネのカイガン	伊勢崎市境女塚2-1	山崎 幸一	74-1681
46	八代肉店	伊勢崎市大手町4-8	塚田 晋一	25-1960

順不同・敬称略

No.	団体名／会社名	住 所	代 表 者	電話番号
1	カラオケスタジオ ミナミ	伊勢崎市境上矢島218	南 和夫	76-4129
2	東光書道会	伊勢崎市境米岡685	新井 哲郎	74-0533
3	清水生花店	伊勢崎市三光町7-23	清水 秋夫	26-8741
4	フローリスト みね	伊勢崎市曲輪町15-10	藤井 栄	23-3628
5	川島美術印刷(株)	伊勢崎市中町760	川島 和美	25-8111
6	川島 和美	伊勢崎市今井町377	川島 和美	26-7580
7	伊勢崎プリオパレス	伊勢崎市昭和町3827	松井 研三	25-4122
8	ふろーらり ねぎし	伊勢崎市宮子町3634-9	根岸 一博	24-4222
9	(株)シンエイ	伊勢崎市連取町2355-5	清水 秀明	24-7245
10	三橋寿司	伊勢崎市昭和町4071	阿久津幸次	23-8069
11	カワバタ設計	伊勢崎市八幡町45-2	川端 俊明	25-8756
12	(有)保坂工務店	伊勢崎市波志江町3667	保坂 正男	24-1905
13	佐波伊勢崎農業協同組合	伊勢崎市連取町3096番地1	代表理事組合長 小倉 正秀	20-1220
14	着物良品	前橋市西片貝町3-297-3	堀口 隆敬	027-243-7033
15	西ひとみ社会保険労務士事務所	伊勢崎市田部井町1-1166-20	西 ひとみ	61-0570
16	小高屋	伊勢崎市今泉町2-940-24	川村 更生	25-1086
17	国定窯	伊勢崎市上田町172-10	関口 宗平	62-2881
18	書道研究墨鳴会	伊勢崎市馬見塚町3262-13	丸橋 鳴峰	32-8472
19	(有)品田石材	伊勢崎市国定町2-1854-6	品田 玉顕	62-0240
20	魚や大水	伊勢崎市田部井町2-858-1	諏訪 弘	20-8338
21	ほしの呉服店	伊勢崎市国定町1丁目1250-10	星野 勝正	63-0144
22	かず歯科診療所	伊勢崎市国定町2-2002-3	大山 和寿	62-8196

平成30年度伊勢崎市文化協会団体名簿

(平成30年4月1日現在)

	団体名	代表者	会員数	
郷土芸能	21 西久保三おはやし保存会	常木 静子	20	
	22 上州あずま太鼓会	須賀 正文	38	
	23 氣樂流柔術保存会	水科 壽美	15	
	24 下洲名獅子舞保存会	大橋 増一郎	20	
	25 東新井獅子舞保存会	高橋 一豊	30	
	26 東町囃子保存会	岡本 宇正	30	
	27 女塚祭礼囃子保存会	真貝 豊	30	
	28 栄町祭礼囃子保存会	飯島 義雄	110	
	29 三ツ木祭礼囃子保存会	室田 幸広	40	
	30 上州・境雑子尾太鼓	柿沼 盈	50	
	31 剛志民謡保存会	森村 清志	21	
	32 赤堀ひごろも太鼓	吉田 和義	44	
	33 三室町子ども八木節会	小暮 利明	18	
	34 上州八木節西小保方匠	牛腸 一英	10	
	35 美茂呂町屋台囃子保存会	村田 行孝	30	
	36 稲間組屋台・屋台囃子保存会	板垣 有一	19	
	37 上州国定睦	井上 潤	10	
	38 福島町八木節保存会	本木 栄一	34	
	39 富塚町銭太鼓愛好会	岡田 きみ子	27	
	合計		1,143	
	洋舞	1 JAあずまフラクラブ	細野 京子	18
		2 フォークダンス境	山本 きみ江	14
		3 境フラサークル・ハイビスカス	山鹿 延子	40
		4 ブルメリア	柳澤 節子	15
		5 レクダンスみさと	永島 トシ江	22
		6 ハイビスカス豊受	久保 ひろ子	13
		7 Hula Halau O Na Pua Lehua	福島 きり奈	26
		8 フラナニ・ブアリレフア	田島 典子	12
		9 ハイビスカス赤堀	斎藤 千代子	14
		10 ヒナノ	久保田 文子	21
		11 ピカケ伊勢崎	小林 ひろみ	18
		12 Puanani	上岡 郁美	14
		13 レイモミ	高橋 文江	20
		14 三郷小町	細井 邦子	24
		15 ロゼラニ	多賀谷 道代	19
		16 フラサークルパカラナ	石原 美津江	12
		17 フラナニブエオネ	大島 利恵	15
		18 ナーブァ	武井 貴美	15
		19 オハナ ロカヒ	上岡 文子	50
20 名和ナイスフラレディース		櫛島 照子	23	
21 フラグループ Na Lei		内山 敏子	13	
22 カプア		高橋 浩子	14	
23 ミノアカ		岡田 君子	12	
24 レクダンスKSG		石川 繁生	10	
合計		454		
自然	1 日本野鳥の会群馬伊勢崎分会	高田 恒安	50	
	2 日本盆栽協会伊勢崎支部	吹上 好弘	30	
	3 伊勢崎小品盆栽会	金井 由一	25	
	4 伊勢崎市盆栽クラブ連合会	大和 洋司	96	
	5 伊勢崎市蘭蕙愛好会	吉沢 久治	24	
	6 伊勢崎山草会	細谷 一美	18	
	7 伊勢崎菊花同友会	小島 勝	24	
	8 伊勢崎石仏の会	高橋 友七	20	
	9 境山草会	瀬井 明	17	
	10 うえはす山野草の会	小野里 美恵子	21	
合計		325		
諸芸	1 あずま赤堀囲碁愛好会	小保方 重吉	19	
	2 伊勢崎マジシャンクラブ	菊地 正之	23	
	3 伊勢崎愛刀会	新木 純夫	12	
	4 伊勢崎佐波囲碁会	村岡 武雄	60	
	5 境囲碁研究会	天田 育宏	20	
合計		134		
総計		7,250人		
		229団体		

	団体名	代表者	会員数	
邦楽舞踊	12 舞踊松葉会	田所 陽子	30	
	13 琴謡会	井上 明子	8	
	14 彩扇会	須賀 いせ子	12	
	15 美也珠会	小島 美也子	13	
	16 日本舞踊あゆみ会	佐野 恭子	22	
	17 樹鳳会	浅見 由紀恵	10	
	18 久紀の会	児島 美江	34	
	19 グループことほぎ	尾内 能利江	17	
	20 好風会	角田 庸子	10	
	21 やなぎ会	高橋 ゆり子	11	
	合計		433	
	吟剣詩舞	1 寿流 日舞 詩舞 鶴登加会	山下 美津子	14
		2 寿流 日舞 詩舞 鶴久紀会	原 けい子	24
		3 心彰流 愛吟詩道会 伊勢崎吟詠会	阿久津 幸次	9
		4 吟道館流 伊勢崎吟詠会 緑陰の集い	関 勝巳	82
		5 吟道館流 上武吟詠会 那波の会	石田 英生	60
		6 美扇流 鶴縁会	金井 キヨミ	5
		7 吟道館流 上武吟詠会 瑞雲の会	鈴木 禎栄	40
		8 吟道館流 伊勢崎吟詠会 芙蓉の会	小林 清浩	38
		9 吟道館流 伊勢崎吟詠会 東吟の集い	塩島 弘子	11
		10 吟道館流 伊勢崎吟詠会 華の会	鈴木 浩子	53
11 心彰流 剣舞剣彰会		斎藤 ひとみ	5	
12 岳心流 東栄諏訪美会		諏訪 勝美	17	
13 心彰流 あずま吟詠会		小暮 利明	12	
14 心彰流 あずま剣詩舞教室		白川 節子	6	
15 菊水流 菊崇会		田村 雅代	9	
合計		385		
民謡民舞	1 旭星会	高野 邁	15	
	2 旭星会三絃尺八クラブ	高野 邁	15	
	3 星豊会	都丸 良	15	
	4 慎星会	鎗木 慎紀子	13	
	5 太星会	設楽 昭好	13	
	6 天秋会	大谷 ヒデ子	15	
	7 天秋会江原教室	江原 昌代	15	
	8 秀月会	堀川 茂	14	
	9 山輝稚会	森村 米多	12	
	10 登美寿会	高橋 富美子	55	
	11 豊受民踊会	高橋 富美子	16	
	12 マズルカFD(フォークダンス)茂呂	松本 春野	20	
	13 登三善会	浅沼 利子	14	
	14 あすなる会	浅沼 利子	10	
	15 宮子民踊会	根岸 君代	15	
	16 優乃会	水島 正枝	13	
	17 善風会	亀田 隆雄	16	
	18 鳳雅会	清水 洋子	11	
合計		297		
郷土芸能	1 八斗島民芸保存会	松本 好夫	27	
	2 宮子町八木節保存会	井上 清行	16	
	3 伊勢崎交通安全協会女性部八木節部	小野田 安子	25	
	4 昭和町子ども会八木節	多賀谷 明子	27	
	5 三郷八木節保存会	糸井 清春	28	
	6 神谷八木節会	小川 好夫	30	
	7 赤堀郷友会	金子 英保	20	
	8 田下八木節会	今井 照彦	22	
	9 上武士八木節同好会	永井 淳介	17	
	10 上洲名八木節保存会	長沼 市治	25	
	11 百々親友会八木節部	菊池 広文	60	
	12 馬場八木節愛好会	持木 三雄	8	
	13 伊勢崎和太鼓	半田 孝	53	
	14 荒木流拳法保存会	鈴木 清一郎	16	
	15 下蓮町安来節保存会	飯塚 武夫	10	
	16 木遣り保存会	矢内 昌春	50	
	17 千本木龍頭神舞保存会	丸橋 一善	21	
	18 南北千木町屋台囃子保存会	鈴木 宣男	32	
	19 華だんべえ会	塩野 正雄	35	
	20 伊勢崎銭太鼓愛好会	重田 玲子	25	

	団体名	代表者	会員数
文学	1 みさと短歌会	吉沢 典子	17
	2 境図書館短歌会	光山 半彌	20
	3 川柳みやま吟社	石原 学	10
	4 群馬童話研究会	星 瑛子	21
	5 鈴木惣太郎を守る会	新藤 昶旦	45
	6 紙芝居を楽しむ会	新藤 靖	20
	7 伊勢崎市民俳句会	磯部 道昭	27
合計		160	
音楽	1 伊勢崎アコーディオンサークル	中野 靖巳	20
	2 伊勢崎市民吹奏楽団	境野 智章	61
	3 アイオーしんきん音楽部	高間 博史	18
	4 ISESAKI SMC BIG BAND	西野目 心吾	34
	5 サウンドシャワー	大澤 敏明	15
	6 早川歌謡バンド	吉野 宗治	25
	7 合唱団コール・ルーエ	浜田 樹	30
	8 伊勢崎混声合唱団	矢内 三四外	44
	9 伊勢崎コーラス・ノイエ	今 啓子	40
	10 あずまコールさざんか	高橋 蓉代	24
	11 境女声コーラス水仙	栗原 茂美	37
	12 コーラス・ヴィオラ	伊藤 喜美代	24
	13 伊勢崎第九を歌う会	尾内 本典	80
	14 ルーエクラブ合唱団	池田 昌子	34
	15 女声合唱団アマリリス	大橋 正子	30
	16 あすなるハーモニカクラブ	石橋 久	20
	17 凜	平田 康子	19
	18 伊勢崎室内合唱団	吉田 敏男	25
	19 女声コーラスめだか	鎗塚 福栄	25
	20 オカリナ・響	黒澤 千恵子	17
	21 コールひまわり	大井 麗子	14
	22 コール ぽこ・あ・ぽこ	田中 悦子	23
	23 あんさんぶる22	堀 安子	11
合計		670	
歌謡	1 あずま白樺会	船戸 省三郎	17
	2 櫻桃会	植木 昭一	128
	3 ひまわり歌謡友好会	川田 キチノ	73
	4 ミュージックさかい	神戸 幸雄	11
	5 清水歌謡クラブ	川島 美重子	112
	6 白川恵美歌謡学院境教室	北 サヨ子	107
	7 大国歌謡クラブ	荒井 通好	63
	8 NPO伊勢崎市福祉歌謡連合会	清水 巖	51
	9 清水歌謡教室	清水 巖	23
	10 植木歌謡教室	植木 春江	52
	11 ラッキーなかよし会	伊藤 ひろみ	33
	12 TAKEShiクラブ	井上 喜久寿	18
	13 歌謡教室ひばり会	田島 初美	35
	14 歌謡教室チェリー	奥積 房江	31
合計		754	
邦楽舞踊	1 伊勢崎邦楽舞踊協会	平野 澄子	120
	2 三郷民踊会	阿久津 テル子	6
	3 祐妃会	川島 かずみ	20
	4 悦紅会	飯塚 悦子	13
	5 扇優会	石倉 優美子	30
	6 いづみ会	倉林 千恵子	19
	7 扇紫江会	林 君江	15
	8 吉三会	飯野 弘美	11
	9 玉藻会	佐俣 玉江	10
	10 若駒会	星野 良枝	11
	11 文寿会	高山 文代	11

	団体名	代表者	会員数
美術	1 月永会	山崎 貞子	20
	2 紫墨会	児島 貞二郎	13
	3 紫峰会	谷 貞子	8
	4 境水彩画会	高橋 友七	19
	5 境きりえの会	柿沼 スミ江	10
	6 ちぎり絵愛好会	仁科 令子	15
	7 上州ひょうたん会	原 角雄	50
	8 境フラワーアレンジメントサークル	斉藤 美智子	33
	9 押し花サークル・ラベンダー	高橋 史子	11
	10 境木彫りの会	須藤 尚眞	14
	11 伊勢崎市くらしの会	木島 勝恵	55
	12 フラワーアレンジメント華	茂木 徳子	11
	13 原ノ城窯	鈴木 茂	12
合計		271	
書道	1 清月書道会	福田 令子	40
	2 書道研究 墨鳴会	丸橋 孝男	40
	3 書藝研究社	清水 いせ子	30
	4 円かな書会	栗原 ウメ子	23
	5 東光会	新木 純夫	23
	6 玉葉会	石橋 満津枝	17
	7 昇雲会	藤枝 幹雄	35
	8 祥山書会	神宮 まり子	13
	9 木村かな書道会	木村 和子	9
	10 書宝会	松本 近史	11
	11 雪月華書道会	高野 千春	10
	12 草友会	高柳 託治	11
	13 大蛙洞書道会	大貫 八生	27
	14 東光書道会	新井 哲郎	40
	15 東書会	栗原 敏明	10
	16 書遊会	大橋 光義	6
	17 洲名印社	大貫 勝利	19
	18 剛志ペン字の会	中島 八重子	7
	19 翠香会	根岸 幸子	30
	20 流水会	高山 清平	29
	21 白玄会	栗原 夏雄	16
	22 書道研究聖筆会	星野 明	10
	23 利根書会	町田 直美	13
	24 松友会	井田 眞一	14
合計		483	
写真	1 日報連 伊勢崎支部	岡村 文夫	17
	2 豊受写真クラブ	都丸 守邦	16
	3 写団国定	神田 武	14
	4 写団チングルマ	橋本 智明	17
	5 ほのぼの写真クラブ	前野 龍一	13
	6 P・C・アベックス	池田 育兄	11
	7 写真倶楽部ペーニャ	小倉 良枝	43
合計		131	
華道	1 伊勢崎いけばな協会 桜	大和田 貞代	300
	2 伊勢崎いけばな協会 松	永島 治子	350
合計		650	
茶道	1 伊勢崎茶道会 大日本茶道学会	猪脇 典子	212
	2 伊勢崎茶道会 江戸千家宗家	中島 アグリ	120
	3 伊勢崎茶道会表千家	小林 昭枝	252
	4 伊勢崎茶道会裏千家	阿久津 萬里子	276
	5 伊勢崎茶道会江戸千家	有川 よし子	50
	6 煎茶道東阿部流	新井 幸子	22
	7 煎茶道方円流	丹波 真知子	28
合計		960	

伊勢崎市文化協会常任理事名簿

(平成29・30年度)

役職	氏名	所属部門
会長	諏訪 勝美	—
副会長	新井 哲郎	書道
々	児島 貞二郎	美術
々	丸橋 孝男	書道
々	高野 邁	民謡民舞
書記	関 勝巳	吟剣詩舞
々	大和田 貞代	華道
会計	川島 和美	邦楽舞踊
々	大和 洋司	自然
監事	清水 巖	—
々	糸井 清春	郷土芸能
常任理事	高橋 友七	美術
々	橋本 智明	写真
々	岡村 文夫	写真
々	永島 治子	華道
々	中島 アグリ	茶道
々	阿久津 萬里子	茶道

役職	氏名	所属部門
常任理事	石原 学	文学
々	星 瑛子	文学
々	高橋 蓉代	音楽
々	栗原 茂美	音楽
々	植木 昭一	歌謡
々	船戸 省三郎	歌謡
々	石倉 優美子	邦楽舞踊
々	原 けい子	吟剣詩舞
々	高橋 富美子	民謡民舞
々	塩野 正雄	郷土芸能
々	小林 好夫	郷土芸能
々	永島 トシ江	洋舞
々	細野 京子	洋舞
々	小野里 美恵子	自然
々	菊地 正之	諸芸
々	村岡 武雄	諸芸

伊勢崎市文化いせさき編集委員名簿

(平成29年度)

No.	役職	名前	部門	所属
1	委員長	星 瑛子	音楽	コーラス・ヴィオラ
2	副委員長	橋本 智明	写真	写団チングルマ
3	委員	児島 貞二郎	美術	紫墨会
4	〃	福田 令子	書道	清月書道会
5	〃	永島 治子	華道	伊勢崎いけばな協会 松
6	〃	有川 よし子	茶道	伊勢崎茶道会江戸千家
7	〃	荻原 久工	文学	みさと短歌会
8	〃	船戸 省三郎	歌謡	あずま白樺会
9	〃	飯塚 悦子	邦楽舞踊	悦紅会
10	〃	石田 英生	吟剣詩舞	吟道館流 上武吟詠会 那波の会
11	〃	江原 昌代	民謡民舞	天秋会江原教室
12	〃	金子 英保	郷土芸能	赤堀郷友会
13	〃	田島 典子	洋舞	フラナニ・プアリリレファ
14	〃	大和 洋司	自然	伊勢崎市盆栽クラブ連合会
15	〃	小保方 重吉	諸芸	あずま赤堀囲碁愛好会

編集後記

新緑のまぶしい季節となりました。二十九年度も、様々な分野で活躍された皆さんの足跡を見るとき、厳しい世相の中にあっても「明るく楽しく元気よく」活動に情熱を注がれた姿に、とても感動させられます。

こうして、それぞれの部門の事業が、皆さんの熱意と協力のお陰で無事終了する事ができ、ここに活動をまとめた『文化いせさき』をお届け出来ます。これも偏に、市並びに賛助会員の皆様方の文化協会にお寄せ下さった、温かいご理解ご協力の賜であることは勿論のこと、文化観光課の職員のみならず、人の大いなるお力添えのお陰でもあり、心より感謝申し上げます。

またこの度、長い間文化協会の事務一切を、情熱あふれる行動力を持って支えてくださった係長が栄転されました。誠に名残惜しくはありますが、前途を祝福すると共に、今後の文化協会を担当して下さる職員の皆さん、文化協会へのご指導をよろしくお願いいたします。

会員の皆さんも、より一層の相互の充実を目指すと共に、以前にも増してのご協力をよろしく願っています。

星 記

伊勢崎市文化協会会則

(名称)

第1条 本会は伊勢崎市文化協会と称する。

(目的)

第2条 本会は伊勢崎市における各文化団体の連絡調整を図るとともに活動を援助し、その向上発展に務め、本市における芸術文化振興発展に寄与することを目的とする。

(事業)

第3条 前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 各種文化団体間の連絡、情報交換、親睦に関する事。
- (2) 各種文化団体の行う事業の後援、奨励に関する事。
- (3) 文化的研修に関する事。
- (4) その他文化活動に関する事。

(会員)

第4条 本会は、次の会員をもって組織する。

- (1) 会員 本会の目的に賛同する文化団体。
- (2) 賛助会員 本会の目的、事業に賛同する個人、法人、団体。

(入会)

第5条 本会に入会しようとする団体は10名以上で組織する団体であることとし、

会長は申し出のあったとき、常任理事会に報告し、承認を得るものとする。

賛助会員は、会長に入会を申し出ることにより会員となる。

(退会)

第6条 本会を退会しようとする会員は、退会届を会長に提出するものとする。

会長は、本会の会員が会員として不適当と認めるときは、常任理事会にはかり、退会させることができる。

(部門)

第7条 本会に次の部門を置く。

- ① 美術
- ② 書道
- ③ 写真
- ④ 華道
- ⑤ 茶道
- ⑥ 文学
- ⑦ 音楽
- ⑧ 歌謡
- ⑨ 邦楽舞踊
- ⑩ 吟剣詩舞
- ⑪ 民謡民舞
- ⑫ 郷土芸能
- ⑬ 洋舞
- ⑭ 自然
- ⑮ 諸芸

(役員)

第8条 本会に次の役員を置く。

- ① 会長 1名
- ② 副会長 4名
- ③ 書記 2名
- ④ 会計 2名
- ⑤ 監事 2名
- ⑥ 常任理事 若干名

本会には前項の役員のほかに顧問をおくことができる。

顧問は、会長が委嘱する。

(理事)

第9条 理事はすべての構成団体から1名選出し、総会の代議員となる。

(常任理事の選出)

第10条 常任理事は、部門ごとに理事の中から選出する。その選任数は各部門毎に2名を基本とし、構成員1,000名を超える部門については、1,000名を超えた構成員500名につき1名を加えた数の常任理事を選任する。

(役員を選出)

第11条 役員は常任理事の中から常任理事会で選出し、総会において承認する。

ただし、会長及び監事は常任理事以外のものをもって充てることができる。

(役員の職務)

第12条 役員の職務は以下のとおりとする。

- ① 会長は本会を代表し、会務を総理する。
- ② 副会長は会長を補佐し、会長事故あるときはこれに代わる。
- ③ 書記は本会の庶務事務にあたる。
- ④ 会計は本会の会計を掌る。
- ⑤ 監事は会務を監査し、総会に報告する。
- ⑥ 常任理事は会務に参与し、その執行にあたる。

(役員任期)

第13条 役員任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。欠員を生じた場合は

第10条並びに第11条の規定に従い欠損を補充する。その任期は前任者の残任期間とする。

(会議)

第14条 本会の会議は次のとおりとする。

- (1) 役員会 会長・副会長・書記・会計・監事からなり会長が必要に応じて召集し、会の重要事項を協議する。
- (2) 常任理事会 常任理事からなり会長が必要に応じて召集し、会の運営・事業等について協議し、また執行にあたる。
- (3) 総会 代議員(理事)からなり、毎年1回以上開催し、予算、決算、事業計画等を審議する。

(会費)

第15条 本会の会費は各団体会費年額3,000円とする。

賛助会員の会費は年額とし、1口10,000円とする。

(会計年度)

第16条 本会の会計年度は毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わるものとする。

(会則の改正)

第17条 本会の会則改正は総会において決定する。

付 則

- 1 この会則は平成19年5月25日から施行する。
- この会則は平成23年5月20日から施行する。